

水虫・たむし治療薬

第2類医薬品

水虫コンブラックEXクリーム

テルビナフィン塩酸塩配合

- 水虫・たむしは真菌（カビ）の一種である白癬菌が、皮膚の表面に感染しておこる疾患です。
- 水虫コンブラックEXクリームは水虫の原因の白癬菌を殺菌するテルビナフィン塩酸塩を配合する水虫・たむし治療薬です。

【特 徴】

- テルビナフィン塩酸塩の優れた殺真菌作用と角質層への浸透力により1日1回の塗布で、薬剤が患部に留まって水虫・たむしに持続的に効果を発揮し、症状を治していきます。
- ジフェンヒドラミン塩酸塩、グリチルレチン酸が、水虫・たむし等による不快なかゆみ、炎症を鎮めます。
- イソプロピルメチルフェノールが患部周辺の雑菌の繁殖を抑えます。
- べとつきがなく、サラッとした使いごちのよいクリームです。
- びらん（じゅくじゅく）型の患部にお勧めします。



使用上の注意



してはいけないこと

＜守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります＞

1. 次の人は使用しないでください。
本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
2. 次の部位には使用しないでください。
(1) 目や目の周囲、粘膜(例えば、口腔、鼻腔、膣等)、陰のう、外陰部等
(2) 湿疹
(3) 湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 乳幼児
(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
(5) 患部が顔面又は広範囲の人
(6) 患部が化膿している人
(7) 「湿疹」か「みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人
(陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い)
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	かぶれ、刺激感、熱感、 ^{りんせつ} 鱗屑・ ^{らくせつ} 落屑（フケ・アカのような皮膚のはがれ）、ただれ、乾燥・つっぱり感、皮膚の亀裂、いたみ、色素沈着、発疹・発赤*、かゆみ*、はれ*、じんましん*

*：全身に発現することがあります。

3. 2週間位使用しても症状がよくならない場合や、本剤の使用により症状が悪化した場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

〔効能・効果〕

みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし

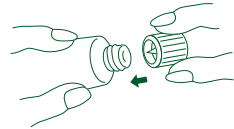
〔用法・用量〕

1日1回、適量を患部に塗布して下さい。

〈用法・用量に関連する注意〉

1. 定められた用法を厳守して下さい。
2. 患部やその周囲が汚れたまま使用しないで下さい。
3. 目に入らないように注意して下さい。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けて下さい。
4. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させて下さい。
5. 外用にのみ使用して下さい。
6. 本剤のついた手で、目や粘膜にふれないで下さい。

〈チューブの穴の開け方〉



キャップを逆さにして、突起部をチューブの先に強く押し当ててください。

〔成分・分量〕

成 分	分量（1g中）	は た ら き
テルビナフィン塩酸塩	10mg	水虫・たむしの原因の白癬菌に殺菌作用を示します
ジフェンヒドラミン塩酸塩	5mg	患部のかゆみを抑えます
グリチルレチン酸	5mg	患部の炎症を抑えます
イソプロピルメチルフェノール	3mg	患部周辺の雑菌の繁殖を抑えます

添加物：セトステアリルアルコール、ポリオキシエチレンベヘニルエーテル、モノステアリン酸グリセリン、アジピン酸ジイソプロピル、中鎖脂肪酸トリグリセリド、ジメチルポリシロキサン、1,3-ブチレングリコール、リン酸水素Na水和物

〔保管及び取り扱い上の注意〕

1. 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）
4. 使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。また開封後は使用期限内であってもなるべく速やかに使用して下さい。
5. 本剤は油性物質を含んでいますので、塗布後すべりやすくなることがありますから注意してください。

〔水虫治療のポイント〕

1. 根気よく治療を続けましょう。
症状が治まった後も約1ヶ月程度は治療を続けて下さい。
2. 患部はいつも清潔にしましょう。
菌の増殖を抑え二次感染を防ぐため患部をていねいに洗って清潔にして下さい。
3. 患部の乾燥に心がけましょう。
入浴後や汗をかいた後はしっかり乾燥させて下さい。
また、通気性の悪い靴や靴下はなるべく避けて患部を乾燥させるよう心がけて下さい。
4. 薬は患部の周囲まで広く塗りましょう。
菌は症状が出ている範囲より広く寄生していることがあるので薬剤は広めに塗って下さい。

製品についてのお問い合わせ

- お買い求めの販売店
- ジャパンメディック株式会社 お客様相談窓口：076-438-1107
〔受付時間：月～金（祝祭日・年末年始を除く）9：00～17：00〕

副作用被害救済制度の問合せ先
（独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元
ジャパンメディック株式会社
富山県富山市横越168